



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和3年3月11日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

コロナとの1年を振り返って

校長 小川 高弘

3月に入り、気温が20℃近くになる日もあれば、一桁の日、北風の強い日と様々です。しかし、気温のアップダウンを繰り返しながら、確実に春は近づいてきています。校舎西側の河津桜も、春が近づいているを感じさせます。



先週、政府による緊急事態宣言が再延長され、年度末の教育活動の見直しが必要となっています。これまでの教育活動と同様に、一律に中止にするのではなく、感染予防を徹底しながら計画・実施していきます。部活動はここまで2か月間の活動中止となっていたため、3月7日の宣言解除に向けて、急に運動をしてケガをしないように身体慣らしのランニングを計画しました。短い時間ではありますが、これまで一人でランニング等に取り組んでいた生徒もいたようですが、多くの生徒が友達と一緒に走ることで自然と笑みがこぼれていました。しかし、宣言の再延長で、部活動の再開は先延ばしになりました。合唱会は、当初の予定通り、学年別に自由曲1曲を歌い、順位はつけずに実施します。右の写真のように合唱隊形も距離をとっていますので、声のまともりは不十分かもしれませんし、練習不足、さらにマスク着用での合唱も心配されます。また、上級生の歌声を聴き、「来年はあの合唱を追い越そう」と感じさせることができませんが、校内の合唱会に取り組む雰囲気は徐々に高まっています。



保護者の皆様には、後日映像をお見せしたいと考えています。校外学習については、市教育委員会から「都外に出ない、公共交通機関を利用しない」等の実施条件が出されていますので、2年生は浅草と東京スカイツリー、3年生はよみうりランドに行き先を変更しました。事態は変わっているのではないかと年度末まで延期をしてきましたが、直前での行き先変更のため、生徒・保護者の不安や心配もあると思いますが、安全な実施に向けて準備を進めていきます。そして卒業式です。来賓は招待せず、卒業生・保護者（人数制限をさせていただ

きます)・教職員・在校生代表で、できるだけ短時間で3月19日に行う予定です。昨年度は臨時休業中で、練習時間も少ない中で卒業式でした。それでも南中の卒業生は立派な態度で式に参加しました。その伝統は、今年も引き継いでくれると信じています。

1年前の突然の休校からあつという間の1年間でした。校庭での始業式・入学式から始まり、さまざまな制限を受け、学校行事の多くが中止・延期、できても規模の縮小となりました。3年生にとっては、中学校3年間の最後の「運動会」「合唱会」が、これまでの2回と比べて、大きく変わるものになりました。それでも10月のスポーツデイでは、最上級生である3年生が、行事に取り組む姿勢を1・2年生に見せてくれました。また、2年生のころから事前学習を進めていた修学旅行の中止もありました。高校の説明会もオンラインや人数制限、都立高校の出願が郵送になるなど、経験のある保護者や教員にとっても手探りの状況でしたが、140名全員が各々の進路を選択することができました。

感染拡大防止という、学校の教育活動においてこれまでにない条件の下、生徒にはマスク着用、手洗い・うがい、生徒間の密を避ける行動等を徹底してきました。ご家庭には、毎日の検温、健康観察等の協力をお願いしてきました。国内でもワクチン接種が始まりましたが、一般市民の接種まではまだ時間がかかりそうですし、中学生への接種はありません。これからも、一人一人が感染拡大防止について、気を緩めることなく生活していくしかありません。今後とも感染拡大防止にご協力をお願いいたします。令和2年度の南中学校の教育活動に、ご理解をいただきまして、誠にありがとうございました。

○ 第2学年校外学習(浅草) 3月9日(火)

心配していた天候にも恵まれ、2年生は浅草方面に校外学習へ行ってきました。緊急事態宣言の延長に伴い、延期や訪問地を変更しました。その中でも学年の意識は高く、コロナ禍の判断、班行動の判断、社会的なマナーの判断を心掛ける行動ができていました。東京スカイツリーでは、ほぼ貸し切りの状態で、昼食も希望する店に余裕をもってとることができました。浅草寺周辺では、袴姿の女性がたくさんおり、人力車とともに歴史を感じることができました。



○ 合唱会 3月11日(木)

コロナ感染症予防をとりながら、学年毎の発表会を行いました。一人一人の間隔を空け、前後左右に広がった形での合唱でした。練習方法も限られており、パートを合わせる練習も体育館などの広い場所でのみ数回行っている本番となりました。どのクラスもきれいなハーモニーを奏でていました。

